

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和2年10月解析分)

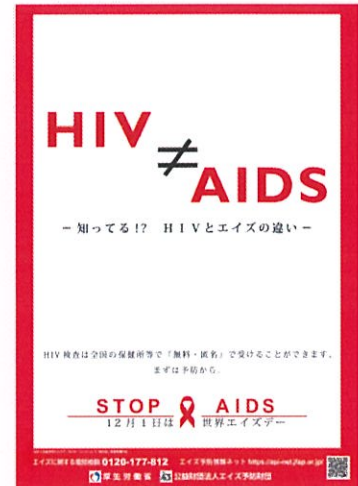
1 今月のトピックス

(1) 12月1日は「世界エイズデー」

WHO（世界保健機関）が1988年にエイズのまん延防止や、患者・感染者に対する差別偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を「世界エイズデー」と定め、エイズに関する啓発活動などの実施を提唱しました。運動のシンボルであるレッドリボンには、エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージが込められています。

広島県においても、この趣旨に賛同し、12月1日を中心にエイズに関する正しい知識の啓発活動などを実施しています。

また、県内の保健所・保健センターなどで相談・検査ができます。広島県のホームページから日程等が確認できますので、検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検ください。世界エイズデーに合わせ、検査時間を延長する保健所などもあります。

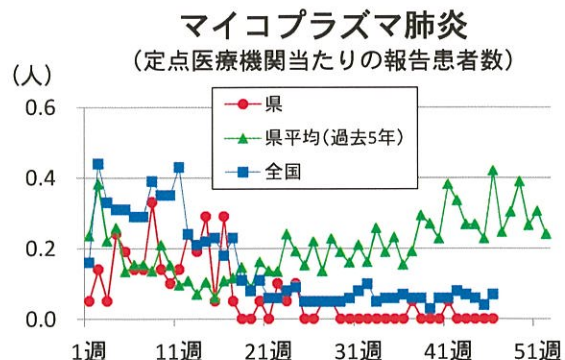
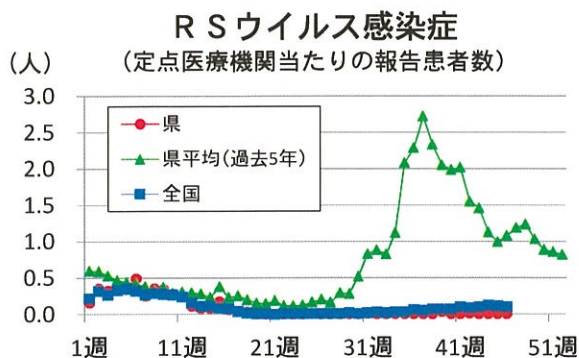
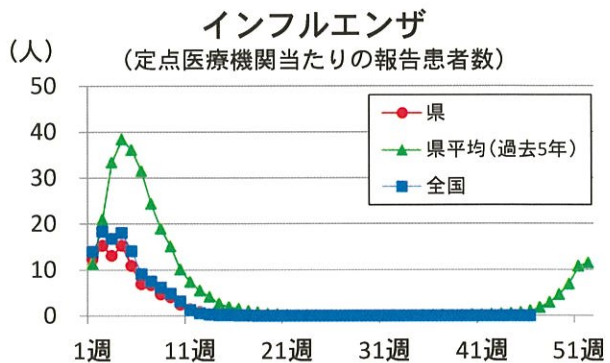


広島県 エイズ検査 [検索](#)

(2) これからの時期に注意すべき主に飛沫を介した感染症（新型コロナウイルス感染症以外）の状況

季節性のインフルエンザや、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎は、冬季を中心に、主に飛沫を通じて伝播する感染症ですが、今年は、例年に比べて患者数の減少傾向がみられます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、マスク着用など飛沫を防ぐ衛生習慣の定着や、国境をまたいだ人の移動制限などが影響している可能性もあるとされていますが、これからの時期は、いずれの感染症も警戒が必要であり、引き続き、感染予防・感染拡大防止対策の徹底をお願いします。



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和2年10月分(令和2年10月5日～令和2年11月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	0	0.00	0.40		10	ヘルパンギーナ	124	0.43	0.30	→
2	RSウイルス感染症	1	0.00	1.59		11	流行性耳下腺炎	28	0.10	0.42	↑
3	咽頭結膜熱	53	0.18	0.32	→	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	157	0.55	1.71	↗	13	流行性角結膜炎	14	0.18	0.78	↘
5	感染性胃腸炎	512	1.78	4.88	→	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	58	0.20	0.25	↗	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	173	0.60	1.03	↑	16	マイコプラズマ肺炎	1	0.01	0.30	
8	伝染性紅斑	3	0.01	0.20		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	110	0.38	0.35	→	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和2年10月分(10月1日～10月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	61	2.65	2.36	↘	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	82	3.90	3.62	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.70	0.90	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.29	
21	尖圭コンジローマ	18	0.78	0.66	→	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.04	
22	淋菌感染症	36	1.57	0.79	→						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)	
○急増疾患	手足口病 (0.26→0.60) 流行性耳下腺炎 (0.05→0.10)
○急減疾患	なし

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)〔西部保健所(4),西部東保健所(2),広島市保健所(7),呉市保健所(3),福山市保健所(13)]
三類	11	腸管出血性大腸菌(11)〔広島市保健所(3),呉市保健所(3),福山市保健所(5)]
四類	32	レジオネラ症(6)〔西部保健所(3),西部東保健所(2),福山市保健所(1)]
		重症熱性血小板減少症候群(2)〔西部保健所(1),広島市保健所(1)]
五類	23	日本紅斑熱(24)〔西部保健所(1),西部東保健所(1),東部保健所(9),広島市保健所(2),呉市保健所(3),福山市保健所(8)]
		ウイルス性肝炎(1)〔広島市保健所(1)]
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)〔東部保健所(1),広島市保健所(1),呉市保健所(1),福山市保健所(2)]
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)]
		急性脳炎(2)〔西部東保健所(1),広島市保健所(1)]
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1)]
		後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(2)]
		侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)]
梅毒(8)〔広島市保健所(3),呉市保健所(1),福山市保健所(4)]		
百日咳(1)〔西部東保健所(1)]		
指定	83	新型コロナウイルス感染症(83)〔西部保健所(6),東部保健所(1),広島市保健所(32),呉市保健所(39),福山市保健所(5)]